



2019年11月
株式会社 F I N E V

お客様 各位

平素大変お世話になり、誠にありがとうございます。

この度、「**アメリカ環境ビジネス研究会**」を開催いたします。

アメリカの環境ビジネス市場は、AI や IT などの最新技術を活用した環境ビジネスが進展しており、金融や法務など多分野の専門家と分野横断的なビジネスが発達しています。

また州レベルでの法制化も早く、日本国内での環境マネジメントや環境ビジネスに参考になる情報も多数あり、新しい情報を通じて下記のような効果を期待して頂けます。

- 日本に導入され可能性がある**新たな規制**や、ビジネスに**影響のある政策等の動向**をいち早く把握できます
- 環境ビジネスの**イノベーション**や**新技術**、**新サービスのネタ**をつかんで頂けます
- アメリカの市場動向から、**新たな顧客セグメント**や**連携先**、**事業機会**をみつけると共に、国内市場の**今後の方向性**や**事業機会**の予測にも役立ちます

第1回アメリカ環境ビジネス研究会は2019年12月11日（水）に開催致します。

米国の最新環境ビジネス、特に PFAS 規制の動向、浄化技術、分析機関等の最新動向のほか、米国の環境政策及び業界動向に関する現地情報をご紹介します。

第1回では「米国土壌浄化市場の概要レポート」を無償にて配布させていただきます。

皆様と共に、環境ビジネス（技術やサービス）や環境管理の手法を、より良いものにして日本と世界の持続可能な社会に貢献する機会を増やしていくことができればと考えています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

株式会社 FINEV（ファインブ）

代表取締役 光成美紀

東京都港区芝大門2-10-12 KDX 芝大門ビル8階

電話：03-6895-6806, FAX: 03-6895-6820



なぜ、いま、アメリカの環境ビジネス？

- IT, AI, ドローン、金融などの分野で世界最先端・最大の市場はアメリカです。環境ビジネスにも**最新技術を活用したビジネス**が展開されています。
- 水処理・土壌汚染対策、リサイクル、廃棄物管理などについても**ITを活用したサービスや、日本にはない汚染浄化技術**などがあります。
- アメリカ生まれの環境ビジネスは多くあり、排出権取引、ESCO、フェーズ1環境サイトアセスメント、環境保険、ブラウンフィールドビジネス等**が世界中に普及**してきました。
- アメリカの環境ビジネス市場は約 42 兆円(2017 年)の規模があり、世界最大の市場です。

アメリカの企業は環境対策に積極的なのか？

- パリ協定に参画していないことのために、アメリカの環境対策が遅れているという印象があるようですが、アメリカの**大手企業や大学・自治体で積極的な環境対策**が進められています。
- GAF A (Google, Apple, Facebook, Amazon) でも再生可能エネルギー100%導入やリサイクルなどを進めており、アップル社の取り組みは日本でも評価され、2019 年環境省のアワードを受賞しました。

アメリカ企業の環境対策は日本企業に参考になるのか？

- アジア各国では、アメリカに類似した環境法制度が導入されています。
- アメリカ国内は法令違反の罰則が大きいので、環境法令のコンプライアンスやリスク管理の枠組みが発達しており、グローバル展開する日本**企業にとって非常に有用なツール**があります。

他のセミナーと何が違うのか？

- 弊社では、**アメリカの環境ビジネス会議に日本から唯一出席**し、他にはない最新情報があります。現地専門家とのネットワークがあります。
- 世界各国の環境規制情報を収集しており、環境ビジネスのトレンドや背景をお伝えできます。

本研究会にご参加頂きたい皆様は・・・

- 環境ビジネスを推進されている管理職、経営陣、担当者の皆様
- 自社の持続可能な開発目標 (SDGs) における環境対策や環境ビジネスの推進を管轄・担当されている方
- 環境ビジネスに投資されている金融機関・投資家の方
- 国内や海外で多拠点の環境対策を担当されて、よりよい環境管理手法を模索されている方
- 海外に環境ビジネスを拡大されたいと考えている企業の皆様
- 海外担当で、環境管理・コンプライアンスを担当されている方
- 環境技術を開発されている技術者の方
- 環境コンサルタント・エンジニアの方
- 環境関連の研究をされているアカデミックの方



アメリカ環境ビジネス研究会

(開催概要)

開催時期	テーマ	概要
第1回 2019年 12月11日(水) 14-17時30分	米国環境ビジネスと 最新環境政策 土壌汚染ビジネス PFAS規制と浄化技術	14時~14時30分 ● 米国環境ビジネス(全般) 米国の主な法規制と環境ビジネス 14時30分~15時30分 ● 環境分野における現在の優先課題とテーマ 米国政策動向・トランプ政権の環境規制 ホワイトハウスの優先テーマ、議会の動向 国防省、州政府等の環境関連優先テーマ 米国大手金融機関の取組/温暖化対策への取組み 原子力政策・廃炉ビジネス 15時45分~17時 ● 土壌汚染対策・インフラ市場、浄化ビジネス 米国各州のPFAS規制の動向 PFASによる汚染サイトと将来の浄化費用試算 製造業(米国製造業協会)、浄化・分析業界の動き PFAS対策技術・PFAS分析機関 環境コンサルティング・請負会社のIT/AIの活用 17時~17時30分 質疑等
第2回 2020年2月 (日程調整中)	2019年の世界の 環境規制と環境ビジ ネストレンド 再生可能エネルギー 大気汚染対策	14時~15時30分 ● GAFAの環境対策(エネルギー、リサイクル) ・アップル(再生可能エネルギー、グリーン調達、 リサイクル)・グーグル(再生可能エネルギー) ・アマゾン(リサイクル、再生可能エネルギー) ● 企業・自治体・大学等の再生可能エネルギー導入 (RE100)・国内トップ100 トップ30(大学、自治 体、小売、オンサイト発電)蓄電池・水素 15時45分~17時 ● 2019年のアメリカと世界の環境規制・政策動向 カリフォルニア州の規制(温暖化対策、水、大気汚 染、工場関連規制、自動車排ガス規制他) 17時~17時30分 質疑等
第3回 2020年4月 (日程調整中)	米国環境ビジネス 最新動向 技術トレンド 水ビジネス 廃棄物ビジネス	(詳細はTBD)米国のESG投資・環境金融 温暖化・気候変動政策・気候変動による影響 インフラのレジリエンス対応 水関連ビジネス・廃棄物ビジネス 環境ビジネス分野のM&A

第1回のセミナーでは、アメリカ環境ビジネス誌の“**米国土壌浄化ビジネスレポート**”抄訳
(10ページ)を無償で配布させていただきます。

*第2回、第3回では、米国の環境ビジネス市場に関する最新レポートの抄訳を配布致します。

(開催場所)

弊社会議室

東京都港区芝大門2-10-12KDX芝大門ビル8階



(参加費用)

1名(1回): 22,000円(税込)

1名(3回): 66,000円(税込) → 55,000円(税込み)(2019年11月30日申込分迄)

*事後のご参加でも3回分、資料(PDF)をご送付させていただきます。

*1社から2名以上のご参加の場合には、1割引とさせていただきます。

送付先 電子メール: info@finev.co.jp

申込用紙

アメリカ環境ビジネス研究会への参加の申し込みをします。

2019年 月 日

貴社名
部署名
御役職
御芳名
住所
電話番号
電子メール

【申込/参加費】(お一人あたり) 該当部分に○をお願い致します。

第1回(2019年12月11日)	22,000円(税込)	
第1回~第3回(3回分)	2019年11月30日申込迄 55,000円(税込)	
	66,000円(税込)	

お振込先(三井住友銀行 大森支店 普通7513695)

開催後、資料(PDF)を参加者の方にお送り致します。

ご請求書が必要な場合はお知らせください。 必要(PDF/郵送) 不要

・お振込確認後に、お申込完了とさせていただきます。

ご欠席の場合は、開催後、資料(PDF)をご送付させていただきます。